

<付記 (2014年7月11日)>

集団検診の項に関する現在のガイドラインが上梓されてから、いくつかのランダム化比較試験の結果が報告された。検診のガイドラインは患者ではなく健常者を対象とすることから、有効性の評価及び不利益とのバランスを勘案するに关してはより確実な証拠が必要とされる。そのため、他国の検診および医療システム下での一つのランダム化比較試験の結果のみで自国のガイドラインを変更することは一般的ではないため、現時点では推奨に変更はない。それらの研究結果に関する日本肺癌学会としてのコメントは、PLCO（肺癌検診における胸部エックス線の有効性評価のランダム化比較試験）に关しては、

<http://www.haigan.gr.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=42>

NLST(肺癌検診における低線量胸部 CT の有効性評価のランダム化比較試験)に关しては、

http://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=38

を参照されたい。なお、本ガイドラインの次回の改訂は、現在進行中の欧州における大規模な低線量胸部 CT による肺癌検診のランダム化比較試験の結果が確定し、評価がある程度定まった時期に行う予定である。